

# 川の市民情報



国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 RCM事務局 URL: <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>  
TEL: 045-503-4015 FAX: 045-503-4092 メール/keihia50@ktr.mlit.go.jp

リバーシビックマネージャー(RCM):住民のボランティア活動の一環として、河川管理の支援をしていただくことを目的に創設された制度です

## 本年もどうぞよろしくお願いたします

### リバーシビックマネージャー(RCM) 平成28年の予定



2月	平成27年度第2回分科会
5月頃	第9期RCM募集開始(予定)
6月	第8期RCM委嘱期間終了
7月	第9期RCM委嘱式
9~10月	平成28年度第1回分科会



京浜河川事務所では、平成12年よりリバーシビックマネージャー(RCM)制度をつくり、より良い河川の維持管理を目指し、行政と市民による協働に取り組んでいます。第8期の皆様には平成26年7月からリバーシビックマネージャーに委嘱させて頂き1年半が経過しました。委嘱期間も残すところ約6ヶ月となりました。5月頃には第9期リバーシビックマネージャーの募集も行う予定ですので、あと6ヶ月でなく、第9期も視野に入れて、私たち河川管理者とは違った市民ならではの視点を持ってご意見や情報をお寄せいただくことを期待しております。

どんなことでも結構です。今年も皆さんが思ったことや感じたこと等をご報告頂ければ幸いです。

## 平成27年度 リバーシビックマネージャー 第2回分科会のお知らせ

平成27年度の第2回分科会を、2月に実施するよう予定しています。

RCMの皆様には別途詳細をお知らせいたしますが、前回参加できなかった方も是非参加できるよう、日程調整をお願いします。

皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

分科会名	担当出張所	予定会場
鶴見川上流	新横浜(出)	鶴見出張所会議室(合同)
鶴見川下流	鶴見(出)	
多摩川上流分科会	多摩川上流(出)	出張所会議室
多摩川中流分科会	多摩(出)	二ヶ領せせらぎ館
多摩川下流分科会	田園調布(出)	出張所会議室
浅川分科会	多摩(出)	日野市平山交流センター
相模川分科会	相模(出)	出張所会議室

## 河川管理カメラ(イーグルアイ)のご紹介

当紙の2015年2月号の「いざ!という時のために」でご紹介した河川のライブカメラに、新たにご覧頂けるカメラが増えました。

東京都世田谷区の二子玉川ライズの屋上(標高約150m)に河川管理用カメラ(愛称:イーグルアイ)を設置し運用を開始しました。二子玉川周辺から約5km上流の川崎市登戸付近までの広域な多摩川の様子を把握することが可能で、アングル内には富士山も含まれており、さらに広域な防災対応や流域の皆様への避難行動の一助としても活躍が期待されます。

HP上で、リアルタイム情報>ライブカメラ「[3.多摩川:二子玉川ライズタワーオフィス屋上/世田谷区玉川\(左岸\)](#)」を選択いただければご覧いただけます。



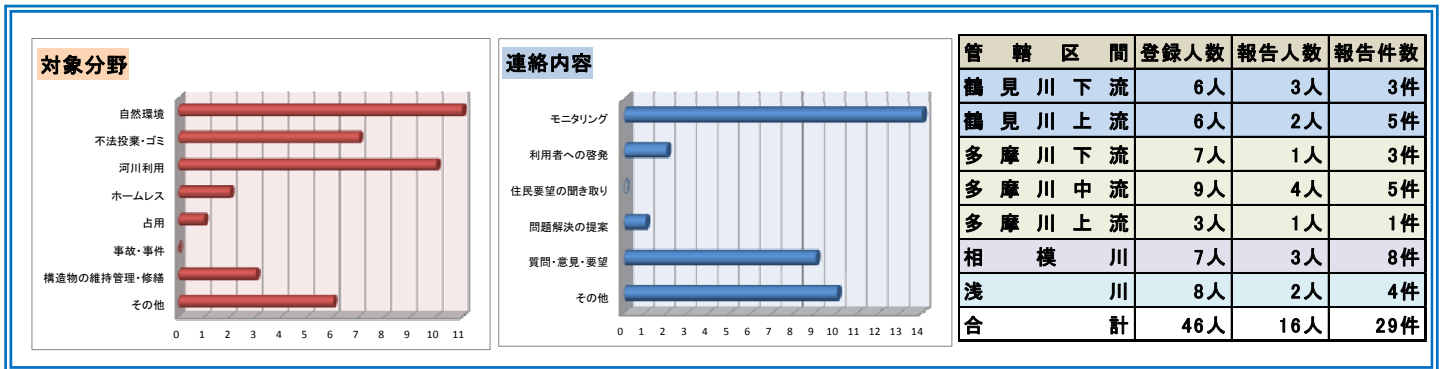
※ 多摩川水系の国管理区間(約78km)には、約140台の河川管理用カメラがあり、日常の河川管理や洪水時の監視などに活用されています。現在、このうち今回の「イーグルアイ」を含め14箇所のライブカメラ映像が京浜河川事務所HP上でご覧いただけます。



[http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\\_index034.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index034.html)

# 第8期RCM (H27年1~12月) 活動報告状況

平成27年は、29件の報告をいただきました。ありがとうございました。



昨年1年間皆様から沢山のご報告をいただき、ありがとうございました！！

分科会では様々なご意見や歴史的経緯等沢山のお話をお聞きすることが出来ました。また、Twitterで河川の四季の移り変わり等を紹介していただいている方もいらっしゃるなど、リバーシビックマネージャーならではの取組をいただいております。

## 鶴見川流域水マスタープランを改定！

鶴見川流域水マスタープラン(通称:水マス)は、市民・市民団体・企業・行政が流域を基本単位として連携・協働し、河川分野に限らず、水循環系に係わる諸課題に総合的に対応するものです。水マスは平成16年8月の策定から10年が経過し、気候変動の問題や流域環境の変化、社会情勢の変化といった新たな課題にも対応する必要が生じました。

このため、水マス改定に向けて、これまで流域の市民・市民団体・有識者・行政らによる検討を重ねてきました。今回、平成27年12月25日の鶴見川流域水協議会第3回協議会にてその内容が承認され、水マスが改定されました。

### ■計画の内容

河川及び流域における水害の発生、河川流量の減少と水質汚濁、自然環境の悪化、震災・火災時の防災、減災、水辺とのふれあいの不足の問題・課題に対し、流域の社会動向を踏まえ、水循環系の視点から流域的視野で取り組むべき対応策を以下の5つの流域水マネジメントにまとめています。 <基本方針>

<水マス5施策>

- 洪水時水マネジメント
- 平常時水マネジメント
- 自然環境マネジメント
- 震災・火災時水マネジメント
- 水辺ふれあいマネジメント

- ☆洪水の危険から鶴見川流域を守ります
  - 流域が一体となった治水安全度の向上
  - 水害に強いまちづくり
  - 地球温暖化に伴う降雨量及び降雨強度の増大、海面上昇等の変化への適応
  - 小流域への豪雨による土砂災害への適応
  - 大規模震災に備えた津波に強い河川施設等の整備
- ☆豊かで清らかな水環境を創出します
  - 支川の自然の流量を確保
  - 地下水の保全・涵養と湧水の復活
  - 子供たちが水遊びでき、多様な水生生物が生息・生育・繁殖できる水質に改善
  - 東京湾への汚濁負荷の削減
  - 水を再利用する社会の実現
- ☆流域のランドスケープ、生物多様性を保全・創出・活用し自然とふれあえる都市を再生します
  - 流域に残された自然環境の保全
  - 水と緑のネットワークの保全・回復
  - 身近な自然と共生する都市の再生
- ☆震災・火災時の危険から鶴見川流域を守ります
  - 河川を生かした災害に強いまちづくり
  - 河川とまちの連携による防災ネットワーク化
- ☆河川とのふれあいを通じて、流域意識を育むおおいのある暮らしを実現します
  - 流域学習の促進
  - 多様な資源を活用した流域ツーリズムの推進
  - 流域の環境に負荷をかけないらしの実践

### 【第1回鶴見川流域水マスタープラン改定記念シンポジウム】

- 日時 平成28年1月30日(土)13:30~16:30
- 場所 鶴見公会堂ホール
- 参加費 無料(要申込)
- 定員 300名(先着順)
- 申込締切 平成28年1月29日(金)12:00まで

□問合せ先 水マス改定記念シンポジウム受付窓口(株)ニデア  
 TEL045-271-1494(平日 10:00~17:00)  
 FAX045-271-3844  
 E-mail [nidea@neo.nifty.jp](mailto:nidea@neo.nifty.jp)

詳細はHPをご確認下さい

#### 改定概要・改定記念シンポジウム

[http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/keihin\\_00000074.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/keihin_00000074.html)

#### 鶴見川流域水マスタープラン

[http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin\\_index049.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index049.html)

#### RCM事務局より

忘年会、お正月のおせち、新年会、七草がゆ、鏡開きのおしるこ、小正月の小豆がゆ・・・みんな美味しくいただいて食べ過ぎ、飲み過ぎで体が重いのは私だけでしょうか。

平成28年の予定でもお知らせしていますが、RCMは今年からは第8期から第9期に移行する年になります。

今年も皆様のお力をお借りしたいと思いますのでよろしくお願い致します。

RCM事務局 山口